

<下野市 まちづくりアンケート>

第二次下野市総合計画策定に係る
市民意識調査
報告書

もくじ

1. 調査概要.....	1
2. 集計結果.....	3
(1) 回答者について.....	3
(2) 現在の下野市について.....	6
(3) 市（行政）の取り組みについて.....	17
(4) 「幸福感」について.....	28
(5) まちづくりへの参加意向.....	34
(6) 将来の下野市について.....	38
(7) 自由意見.....	44
3. 調査票.....	47

平成26年11月
下野市

1. 調査概要

対 象	下野市内在住の18歳以上の市民3,000名
手 法	郵送配布・郵送回収
配 布 数	3,000通
回 収 数	866通
回 収 率	28.9%
実 施 時 期	平成26年8月

【結果概要】

(1) 回答者について

- 男女比、年代比、地域比は概ね均等になっています。

(2) 現在の下野市について

- 8割以上の方が住みやすい・どちらかといえば住みやすいと回答しています。特に女性は男性よりも「住みやすい」という回答が多くなっています。
- 身近な生活環境について「病院・診療所などの医療サービスが充実している」、「自然災害に対して安全性が高い」、「林や川などの美しい自然環境が豊かである」と回答する方が多くなっています。
- 医療サービスの充実や、自然災害への安全性、自然環境の豊かさが、下野市の住みやすさにつながっているものと考えられます。

(3) 市（行政）の取り組みについて

- 「上水道の整備」、「医療体制」、「下水道の整備」などで満足度が高く、「商業の振興」、「労働環境の充実」、「観光の振興」などで満足度が低くなっています。
- 「防犯（犯罪対策）」、「医療体制」、「消防・防災」などで重要度が高くなっています。
- まちづくり全体への満足度については、約3割が「満足」、「やや満足」、約半数が「普通」と回答しています。
- 上下水道の整備や医療体制など、満足度の高い項目のサービスを維持するとともに、商業の振興などの産業関連施策の満足度の向上を図ること、防犯や防災などの安全・安心のための施策に重点的に取り組んでいくことが求められているものと考えられます。

(4) 「幸福感」について

- 7割以上の方が「幸せだと感じている」と回答しています。特に女性は男性よりも「幸せだと感じている」という回答が多くなっています。
- 幸せであるためには「健康状態」、「家計の状況（所得・消費）」、「家族関係」が重要であると回答されています。

(5) まちづくりへの参加意向

- 約6割の方が過去1年間に市民活動へ「あまり参加していない」、「参加したことがない」と回答しています。
- その理由としては、「活動に参加する時間がない」、「活動をするきっかけがない」、「活動に関心がない」などが挙げられています。
- 参加したい活動としては「市をきれいにする(清掃・あきかん拾いなど)活動」、「身近な地域でのお祭り」、「自然をまもる活動」などが挙げられています。
- これらの活動をはじめ、活動に参加するきっかけづくりや活動に関心を持つための情報発信を行っていくことが必要であると考えられます。

(6) 将来の下野市について

- 下野市が今後10年間のまちづくりでどのようなまちになってほしいかという設問に対して、「交通事故・犯罪・公害・災害のない安全・安心なまち」、「水や緑の豊かな自然を守り、環境にやさしいまち」、「子どもや高齢者、障がい者などにやさしい福祉のまち」などが挙げられています。
- 下野市が人や企業から選ばれるために必要なこととして、医療・子育て支援の充実や雇用創出、市民協働、魅力創造・発信や都市基盤の整備などに関する意見が挙げられています。

(7) 自由意見

- 産業・交通・観光・行政サービス・都市基盤、自然環境に関するものなどさまざまな意見が挙げられました。